

# 清流

## 生まれてくれて、ありがとう

最近まで、各学級では「命や性に関する学習」に取り組んでいました。以前は性教育という呼ばれ方をしていましたが、最近では「命」に関わる学習ですから、名称も様々に変わってきています。子どもたちがそんな学習に取り組んでいるとき、校長室の本棚に少し気になる物を見つけました。

それは、「生まれてくれて、ありがとう」というエッセイ集です。歴代の校長先生の中のどなたかが、校長室に残していかれたものだと思います。「子どもたちも、今学習しているから…」と思い、少しページを開いてみました。たくさんエッセイが掲載されていましたが、その中の一つに心が引きつけられました。

### 大きな声

「オギャー」

お産のあまりの痛みで、意識がもうろうとする。生まれたての我が子を見たいと思っても、おそろく気を失いかけているのだろう。白くかすんでしまい見えない。

私は耳が遠い。

それでも、無事な誕生を知らせる元気な声が、私の耳にははっきりと聞こえる。

ありがとう。

健康に生まれてきてくれたんだね。

好きな人の子どもが自分から健康に生まれたんだ。何という幸せだろう。

私はホッとして気を失った。

入院中、同室の人から「元気な声で泣く赤ちゃんですね」と声をかけられた。そう。

この子は神様が私にくれた宝物だもの。耳の遠い私のために、大きな声で泣く力をもって生まれてきたに違いない。

宝物ちゃん。お母さんを選んで生まれてきてくれたのかな。どうもありがとう。大切に育てるから、どうか安心して大きくなってね。

今でも毎日、私が離れた部屋にいても気づくほど、大きな声で泣いています。

最近涙腺がゆるゆるの私は、読みながら、また目頭が熱くなりました。

今回の学習の中でも、5年生が「命の誕生」について学習しました。実際に授業を見ることはできなかったのですが、家族からの聞き取りをし、男性の米満先生に代わって、高橋先生が自分の体験を通して「命の誕生」について話してくれたそうです。

○聞き取りをして感じたことは、生まれてきてくれてありがとうと思ってくれていたことを知って、とてもうれしかったです。これからはもっと素直になりたいと思いました。

○家族は、私が生まれたとき、喜んでくれたと聞いたので、自分の命を大切にして、友だちの命も大切にしようと思いました。命が生まれることは奇跡だということが分かったので、育ててくれた家族に感謝しようと思いました。

○お母さんたちは、ぼくを大切に育ててくれているんだなと思いました。今度からお母さんたちを大切にしたいです。

学習後、子どもたちは上のような感想を書いてくれました。

「生まれてくれて、ありがとう」

「生んでくれて、育ててくれて、ありがとう」

今回の学習が、命の大切さを学ぶとともに、親子の絆を深めるきっかけになれたのなら、とてもうれしいことです。